

第 13 章 環境保全啓発事業・環境教育

1 環境保全啓発事業

(1) 環境月間

環境省では、環境基本法に定められた6月5日の「環境の日」を中心とする1ヶ月間を環境月間と定め、広く国民一般に環境活動への積極的な参加を普及啓発しています。本市においても、環境月間の趣旨を市民・事業所等に啓発するため、各種の事業を実施しています。

平成28年度の行事は、表13-1(1)のとおりです。

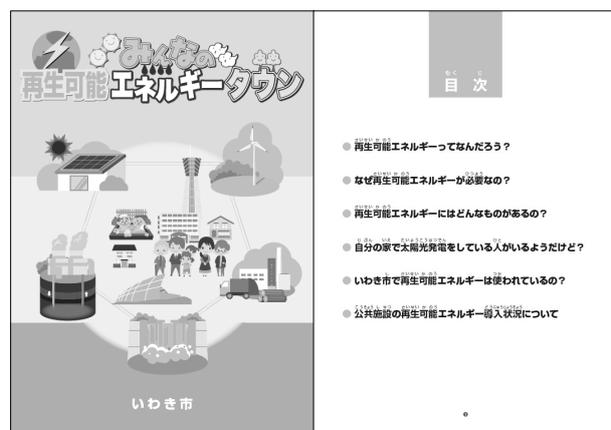
表 13-1(1) 環境月間行事内容

(平成28年度)

事業名	内 容	場 所 等
街頭啓発活動	地球温暖化、ごみ減量化、不法投棄防止などの環境保全意識高揚を図るため街頭啓発を実施	市内店舗
広報いわき	環境月間の特集ページを掲載し、環境に優しい生活を紹介しました。	広報いわき6月号
その他の広報活動	市公式フェイスブックやラジオ、新聞等により環境保全の重要性を呼びかけました。	

(2) 再生可能エネルギー啓発事業

再生可能エネルギーについて理解を深めてもらうため、小中学生を対象とした副読本「みんなの再生可能エネルギータウン」の作成や出前講座「再生可能エネルギーって何？」の開催など、次世代を担う子供達をはじめ、市民への啓発事業を実施しています。



平成28年度作成副読本

2 環境教育・普及啓発の推進

(1) 環境アドバイザー派遣事業

本市では、環境に配慮したまちづくりを推進するため、自然とのふれあいや野外観察、健康な暮らし、緑化、省エネルギーや省資源の方法など、市民の皆様が自発的な環境保全活動に取り組むに当たって、参考となる知識を提供する「環境アドバイザー」を市内各地へ派遣しています。

平成23年度は東日本大震災の影響により事業を中止しておりましたが、平成24年度から事業を再開しました。

表 13-2(1)-1 環境アドバイザー派遣実績

年度	受講者数(人)	派遣回数(回)	派遣人数(人)
平成22年度	1,910	50	75
平成24年度	1,016	24	30
平成25年度	1,679	53	56
平成26年度	1,987	53	79
平成27年度	878	22	28
平成28年度	945	18	25

～環境アドバイザーの派遣申請等について～

市民のみなさまが市内において、参加者10人以上の環境に関する講演会や講習会、自然観察会を主催する場合、講師として「環境アドバイザー」を派遣しています。派遣を希望される方は開催予定日の30日前までに環境企画課までお申込みください。

また、「環境アドバイザー」として登録していただける方についても随時募集しておりますので、登録を希望される方は環境企画課までお問い合わせください。

【お申込みにあたって】

- ▼ 講師の謝礼・交通費は市が負担しますが、会場・資料など開催に必要な準備は主催者にてご用意ください。
- ▼ 講演内容等の具体的な事項は、主催者とアドバイザーにて協議していただきます。
- ▼ 政治、宗教、営利を目的とした講演会等への派遣はいたしません。

表 13-2(1)-2 環境アドバイザー派遣内容一覧

(平成29年7月31日現在)

分類	講演内容		講師氏名	
自然環境	自然観察会・自然体験活動指導等	幼児期の自然体験活動の支援・指導	草野 秀雄	
		小中学校での総合学習の支援・指導		
		環境学習の支援・指導		
		植樹等の森林ボランティア	鈴木 正明	
		森林案内		
		自然観察		
		自然観察を通して環境を考える	津崎 順	
		里山の自然とヒトとの関わり	根本 輝男	
		自然環境学習		
		ネイチャーゲーム指導	古川 真智子	
		自然観察会、木工クラフト、ペーパークラフト	鈴木 晴美	
		天体観察及び天体観測の解説及び指導	桂 伸夫	
		天体観測を通じた自然環境保全への啓発		
	企画	自然観察会のプログラム企画と実施	草野 秀雄	
	水質調査	水生生物による水質調査指導	大谷 善浩	
		川・海の水質調査指導	平川 英人	
	環境教育	農業廃水路の環境教育	平川 英人	
		風力推進車	佐藤 烈	
		「自然環境と人間とのかかわり」を基礎とした環境教育及びその支援		
		自然環境全般	鈴木 信一	
	自然環境保全	石けん、重曹、クエン酸、酸素系漂白剤の性質・合成洗剤との違い。安全性・環境保全についてのお話	佐藤 君枝	
		知れば知るほど興味が湧く生物多様性を考える	山本 廣	
		環境保全の重要性を考える		
体と心で考える自然の恵み 日常生活での身近な問題(海・地球の浄化について)		小林 健四郎		
生活環境	自然環境保全	水環境と生活との係わり	橋本 孝一	
		雨水の利活用	佐藤 烈	
		水循環		
	生活環境	石けん、重曹、クエン酸、酸素系漂白剤を使った掃除・洗濯・漂白等	佐藤 君枝	
		小学生向けに上ぐつ洗い、ブラックライトで蛍光増白剤の実験	小林 健四郎	
	ごみ	ゴミ問題		
		生ごみ堆肥化方法のいろいろ(密閉容器、密閉式ビニール袋、段ボール箱、発泡スチロール箱等の方法を組み合わせ、庭・畑・プランターで利用)		先崎 久美子
		家庭でできる生ごみの減量と有効利用(生ごみ堆肥化方法、EMIほかし法、段ボール箱・トロ箱利用等)		武田 憲子
都市環境	公害・化学物質	物質(化学物質等)循環等	佐藤 烈	
	省エネルギー・再生可能エネルギー	省エネ出前授業	鈴木 一	
		スマートライフ、節電節水と省エネ診断事例		
広域環境	地球環境	地球温暖化問題とエネルギー	鈴木 一	
		地球環境問題と生活との係わり	橋本 孝一	
		地球温暖化	小林 健四郎	
		地球温暖化について	根本 輝男	

(2) 出前講座等

環境問題や公害防止に関して必要な知識の普及・啓発を図るため、市役所出前講座などに市職員を講師として派遣しています。平成28年度の実施状況は、表13-2(2)のとおりです。

表13-2(2) 出前講座等への講師派遣実績 (平成28年度)

事業名	目的	開催場所	参加者合計人数
地球温暖化について考えよう	地球規模の深刻な問題である地球温暖化について、その仕組みや生活に対する影響などを学習する。	いわき市立四倉小学校	44人
くらしと環境問題 “いわき市の環境”	環境問題、本市の環境・公害の現状等を知ることにより、環境保全に対する意識の高揚を図る。	いわき市立平第三小学校 ほか1カ所	115人

(3) せせらぎスクール

福島県では、例年、身近な水辺環境を見直し、水質保全への関心を一層高めるために、「水生生物による水質調査」の参加団体を『せせらぎスクール』として募集しています。

東日本大震災及び原子力発電所事故により中断していた時期がありましたが、平成26年度より募集を再開しています。

なお、本事業の概要は、次のとおりです。

- ① 対象 小・中学生、高校生、市民団体等
- ② 実施時期 4月～9月末
- ③ 活動内容

川底から採取した水生生物について、定められている30種類の指標生物に照らし、その種類と数により水質を判定します。

④ 教材の提供

参加団体には、福島県から調査に必要な教材を提供されます。

(4) こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、将来を担う子どもたちが主体的に行う環境保全活動や環境学習を支援するクラブです。事業概要は、次のとおりです。また、本市における平成28年度の登録状況は、表13-2(4)のとおりです。

- ① 対象 幼児、小・中学生、高校生
- ② 実施時期 通年
- ③ クラブの設立方法
 - 1人から登録可能
 - こどもエコクラブ全国事務局への登録手続き
 - サポーター（活動を補助する大人（連絡係））が1人以上

④ 教材の提供

活動のヒントとなる情報などが記載されたニュースレターや、指導者向けプログラム等の支援ツールが提供されます。

表 13-2(4) こどもエコクラブ登録状況

クラブ名	クラブ人数
いわき市立藤間中学校 JRC 部	メンバー 21人 サポーター 2人
エコハッピー	メンバー 1人 サポーター 1人

(5) 星空観察会(スターウォッチング)

星空観察会(スターウォッチング)は、星空の観察という身近な方法を通して大気環境保全についての意識高揚を図ることを目的に、毎年2回(夏期及び冬期)、いわき天文同好会との共催により実施している事業です。

平成28年度の実施状況は、表13-2(5)のとおりです。

表 13-2(5) 星空観察会実施状況

場 所	参加者数
いわき市立高久公民館	55人(夏:21人 冬:34人)

(6) 緑のカーテンコンクール

市では、地球温暖化対策の一環として、ツル性の植物を建物の壁や窓の外側に覆わせ、日よけ効果や夏季の節電効果がある「緑のカーテン」の普及を図ることを目的に、緑のカーテンコンクールを開催しています。

家庭、店舗・事業所、学校の3つの部門で出来栄を競い、優れた取組を表彰し、緑のカーテンの取組として広く紹介しています。

本事業は平成25年度から開催しており、平成28年度は31件の応募がありました。



平成28年度 大賞作品

「常磐開発(株)・常光サービス(株)・トーホク装美(株)
指定管理業務共同企業体」

(7) いわき子ども環境賞コンクール

本市では子供達の環境保全に対する理解を深め、また、意識高揚を図ることを目的とし、市内の小中学生を対象とした環境保全をテーマとする標語を夏休みの課題として募集し、その作品を表彰・発表するもので、「いわき地域環境科学会」との共催により行っております。平成28年度の実施状況及び受賞作品は、表13-2(7)-1、2のとおりです。

表13-2(7)-1 第13回「いわき子ども環境賞」コンクールの実施状況

応募作品数	応募者数	応募学校数	受賞者数
869 作品	621 名	合計24校(小学校18校、中学校6校)	最優秀賞2、優秀賞6、佳作10、計18件

表13-2(7)-2 第13回「いわき子ども環境賞」コンクール受賞作品一覧

	受賞作品	
最優秀賞	そのゴミを ひろう心に 金メダル	中央台東小 <small>せりざわ まい</small> 芹澤 茉依
	「リサイクル」地球を救う 愛言葉	藤間中 <small>はせがわ ともみ</small> 長谷川 友深
優秀賞	めだかとかわであそびたい。だからごみをすてないで。	大浦小 <small>にいづま わかな</small> 新妻 若奈
	あついけど 1℃でかわる 未来だよ	郷ヶ丘小 <small>わたなべ</small> 渡辺 れの
	分別で きれいな未来に こんにちは	高坂小 <small>わたなべ ゆめこ</small> 渡邊 夢子
	温暖化 今止めないで いつ止める？	湯本三中 <small>おおいし あゆみ</small> 大石 愛弓
	未来へと 環境救え！ エコレンジャー	湯本三中 <small>いづみ</small> 泉 りな
	よーく見て 無駄にしてない？ その『資源』	磐崎中 <small>しぎはら せな</small> 嶋原 聖菜
佳作	えあこんも ぼくといっしょに ひとやすみ	郷ヶ丘小 <small>ひらつか はるき</small> 平塚 春希
	ぼく けすよ トイレのでんき テレビもね	藤原小 <small>みうら やまと</small> 三浦 大和
	もったいない おばけがでるぞ たべのこし	平一小 <small>こおたか いつき</small> 古小 高 樹
	ちょっとまった 私が家族の エコ隊長	郷ヶ丘小 <small>なか</small> 名嘉 ひかる
	もういらない ムダにするなら 買わないで	勿来二小 <small>おおにし ななみ</small> 大西 菜々美
	地球もね 皆の大事な 家なんだ	藤間中 <small>おおたに きらり</small> 大谷 輝星
	よい環境 こまめな節約 あってこそ	好間中 <small>おおわだ かほ</small> 大和田 夏帆
	本当に その電気は 使ってる？	好間中 <small>あべ はるか</small> 阿部 玄
	話そうよ 僕らの未来と 温暖化	湯本三中 <small>ちいろ こうへい</small> 千色 航平
	まず一歩 心と環境 クリーン作戦	桶売中 <small>うさみ あらた</small> 宇佐見 新

(敬称略)